

学内選抜入試 Q & A

出願資格	Q. 国際教養学部 of 3 年半卒業で、受験時にはまだ 3 年生ですが受験できますか？ A. 3 年半卒業でも卒業見込みであれば、受験することができます。既卒者は対象外です。 Q. 5 年生でも出願できますか？ A. 5 年生でも 6 年生でも卒業見込みであれば出願することができます。 Q. 第 1 回で不合格だった場合も、第 2 回に出願できますか？ A. 出願することができます。
出願方法	Q. 他の大学院とどちらにするか迷っていますが、併願は可能ですか？ A. 可能ですが、入学手続きを完了しないと入学できませんので、ご注意ください。入学手続き後に辞退することは可能で、納めた学費等も原則として返金されます。 Q. 出願時に指導教員を決めておかなくてよいですか？ A. 決めておく必要はありません。入学後 2 期目に指導教員を決めます。
提出書類	Q. 志願者評価書は決まった書式がありますか？ A. 所定の書式がありますので、当研究科のウェブサイトからダウンロードしてください。入試要項、その他の書式もすべてダウンロードしてください。 Q. 志願者評価書は英語でもよろしいですか？ A. 英語でも大丈夫です。日本語または英語で書いてもらってください。
選考方法	Q. 一般入試と学内選抜では選考方法が異なりますか？ A. 学内選抜は日本語教育の実務経験が無いという前提で行う入学試験です。その反面、一般入試では受験生に日本語教育のやや基礎的な知識があることを意識した入学試験となっています。 Q. 受験は卒論を書く前となりますが、卒論の提出とは関係ありませんか？ A. 卒業論文提出前に可否を決定しますので、卒業論文の提出は関係ありません。もちろん、卒業論文が不合格となり、学部を卒業できなかった場合には入学資格を失います。 Q. 他の大学院も受験している場合、選考に関係がありますか？ A. 判断基準にしません。
履修について	Q. 入学後、教員免許を取得することができますか？ A. 教育学部の科目等履修生として「中学 1 種の国語」「高校 1 種の国語」を取得することが可能です。（※文構、文、一文、二文は出身学部の科目等履修生として可能） Q. 授業はどのような時間帯に行われますか？ A. 基本的には 1 ～ 5 時限で、演習（ゼミ）も 3 時限から 5 時限まであります。また、非常勤講師の担当科目の中には本務校の都合で 6 時限の場合もあります。 Q. 昼間に就業したまま、修士課程に通うことは可能ですが？ A. 木曜 3 ～ 5 時限に必修の演習（ゼミ）がありますし、一部の科目を除いてほとんどの科目が 1 ～ 5 時限に開講されるため、難しいと思われます。 Q. 入学前に日本語教育研究科設置科目を履修する場合、聴講料が必要ですか？ A. 必要ありません。
その他	Q. 専門学校の日本語教師養成講座で 420 時間養成コースを受講していますが、メリットになりますか？ A. 直接的に受験で優位になることはありませんが、実際の試験や面接時に学んだ知識を生かしてほしいと思います。 Q. 日本語教育について何を读んだらいいですか？ A. 1 冊の本ではカバーできません。言語、教育、社会などいろいろな分野にまたがっています。一度、書店などの日本語教育のコーナーものぞいてみてください。 Q. 30 代が多いようですが、会社を辞めて入学した人が多いのですか？ A. 会社を辞めた方もいますが、海外の日本語学校で教えていてより専門的な研究をしたい方、子供が大きくなり育児に余裕のできた方など、いろいろな方が入学しています。